

のんびりバスケットボール 文京区オリジナルルール

出場資格	男子：40歳以上／女子35歳以上（大会初日の満年齢。初戦日ではないので注意） 文京区大会での一般、のんびりの重複登録は不可とします
競技時間	試合は4ピリオド各7分とします（ピリオドインターバル1分、ハーフタイム5分） 但し他試合等で進行が遅れた場合は1ピリオド6分とする場合もあります なお、ショットクロックの14秒ルールは適用しません。（24秒リセット）
試合要員	試合中は必ず <u>女子選手が1名以上</u> コート上に出場してはなりません 試合開始時に女子選手がいない場合は交流試合とし、いない方のチームの敗戦とします 双方共女子選手がいない場合はサドンデスのフリースローにより勝敗を決定します 但し、女子選手が試合中の怪我及びファールアウト等でいない場合、男子選手4名以下での試合継続を認めます
選手交代	得点を入れられたチームは選手交代をすることができます さらに選手交代があった場合には相手チームも選手交代が認められます （但しショット動作前に交代の申請をしてください）選手交代は迅速に行ってください
タイムアウト	前・後半各1回とします（1・2ピリオドを前半、3・4ピリオドを後半とします） タイムアウトをT.Oに申請できるのはコーチです（プレイヤーは不可）
同点の場合	サドンデスのフリースローにより勝敗を決定します（延長は行いません）
得点	各ピリオドの男子選手の得点上限を6点とします 女子選手の得点上限は設けません
得点補足	6得点満了の選手に対するフリースローが与えられるすべてのファウルの対応についてはフリースローは行わずにアウトからのスローインとします 6得点未満で放ったシュートが入ると6得点を超えてしまう場合の処置は6得点を超えた分は加算しません 但しシュートモーション中へのファウルがありボーナススローが発生した場合はフリースローは行わずに再度ボールポジションを与えセンターラインをまたいでのスローインで再開 またフリースローを2投〔3投〕入れると6得点を超えてしまう場合は1投目〔1・2投目〕を入れればスローインの権利が発生し、1投目〔1投目または2投目〕がはずれば通常通りのリバウンドポジションとなります（〔 〕内は3ポイントシュートの時）
オフサイドルール	攻撃側プレイヤーの 全員 の両足がフロントコートに入った時点からショットすることを認めます（ショットとはゴールに向かってボールを手から放した瞬間とします） オフサイド確認はT.Oが行います（24秒リセットはボールがゴールに触れた時点です） 上記に違反した場合バイオレーションとなり相手ボールとしセンターラインをまたいでのスローインとします（オフサイドの判定を審判が行うことを妨げません） またピリオド残り5秒を切った時点でのオフサイドはバイオレーションは取らずにタイマーを進めピリオド終了とします（その場合の得点は認められません・試合終了時は負けている側のオフサイドのみタイマーを進め試合終了とします）
ファウル	女子選手がシュートモーション中へのファウルはバスケットカウントの得点とし、さらに1ショットのボーナススローが与えられます 各ピリオド個人2回のファウルで他選手と交代しそのピリオドの出場は不可とします 試合を通して個人4回のファウルでその試合の出場は不可とします
ディフェンス	マンツーマンディフェンスは禁止としハーフコートからのゾーンディフェンスのみとします フロントコートでのディフェンスは禁止とし、1回の注意後はどちらのチームもアンスポーツマンライクファウルとし、相手チームに2ショット、相手ボールとします
審判・T.O	各チーム完全帯同制とします 各チーム審判1名・T.O（テーブルオフィシャルズ）2名・フロアワイパー係1名の計4名をお願いします
試合球	使用球は6号ボールとします
その他	第4ピリオド残り2分を切った時点でフィールドゴールが成功してもタイマーは止めません

上記以外は（財）日本バスケットボール協会の競技規則に準じます